



修文錬磨

令和5年4月12日

第1号

八幡平市西根中学校
(文責：山根章広)

～学び、鍛え、磨く～

ご入学おめでとうございます

4月6日(木)午後1時40分から、西根中学校体育館において男子23名、女子44名、計67名の入学式が行われました。

真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちの新入生のみなさんでしたが、新入生呼名ではどの生徒もしっかりとした返事をしていました。新入生のみなさんも、2・3年生のみなさんも、式に臨む姿勢や立ち居振る舞いがとても素晴らしく、厳粛な雰囲気の中で入学式を行うことができました。



【新入生代表の高橋花埜さん】

入学式では、校長先生からの式辞で次のようなお話がありました。
<一部抜粋>

これからの三年間は、皆さんが子供から大人になるための基礎を学び、それらを自分の力として身に付けていく大事な三年間です。西根中学校では、「挑戦と努力を継続し、自他を高め、社会に貢献する生徒の育成」という学校教育目標を掲げ、日々の生活では「基礎・基本を大切にする生徒」、「学問・技術・礼儀を身に付けるため、学び・鍛え・磨く生徒」、「自ら生き方を考え、目標を設定し、取り組む生徒」を目指します。これらは普段、「凡事徹底」、「修文錬磨」、「進取果敢」という四字熟語で合言葉的に言われます。伝統ある西根中学校で、勉強に、部活動に、そして生徒会活動に精一杯励み、社会に出ても通用する力を付けてください。

学校生活を充実したものにするために大切なものは何か、と聞かれるとみなさんは何と答えますか。私は、仲間だと答えます。友情は喜びを2倍にし、悲しみを半分にするといいます。ぜひ、新しい仲間をたくさん作ってほしいと思います。そこで、仲間を作るためのコツを2点お話します。

1点目は、あいさつをすることです。まずは明るく笑顔であいさつすることから始めましょう。あいさつは、とても短い言葉ですが、相手の気持ちを一瞬で幸せにすることができますので、あいさつをする、しないで格段に差がつかます。あいさつ上手な人は、みんなから愛されるといっても過言ではないと思います。

2点目は、違いを認めるということです。集団で生活する学校には、いろいろな人がいます。自分とは、性格が違う、体格が違う、考え方やものの受け取り方、感じ方が違う人がいます。しかし、それが当たり前なのです。違うからこそ面白いし、自分の知らない自分を発見するチャンスがあります。それを自分と違うからといって責めたり、仲間はずれにしたりするような身勝手な人にはならないでください。

友情は喜びを2倍にし、悲しみを半分にしてくれます。ぜひ、一人一人が仲間の喜びを2倍にし、悲しみを半分にする存在になってほしいと思います。そして、みんなから愛される人になってください。

生活の心得確認集会

10日(月)の1校時、全校生徒が体育館に集まり、学校生活を送る上で、全員が守るべきルールについて、確認する集会を持ちました。

生徒指導主事の清野先生から、登下校、授業、給食、昼休み、清掃、服装・頭髪・持ち物、交通安全などについて、丁寧に説明がありました。公平さ、公正さに基づいて、皆が気持ちよく生活するために、必要なものばかりです。ご家庭においても、是非、資料を確認していただき、ご理解のうえ指導をいただきますようお願いいたします。

～「凡事徹底」を徹底する～



1年交通安全教室

10日(月)の3・4校時を使って、1年生を対象とした「交通安全教室」を行いました。市の交通指導隊の皆さん、八幡平幹部交番の所長さんなど大勢の指導員に見守られながら、改めて自転車に乗る上での注意点の説明を受け、一人一人実技指導を受けました。小学校3年生の頃から指導を受けているのですが、久しぶりの自転車乗車ということもあり、よろめきながら走る人などもあり、個人的なご指導を受けた人も多かったようです。くれぐれも、事故に遭わない、事故を起こさないよう、周囲の状況に気を配りながら、安全な通行に心がけてほしいと思います。

丁寧に御指導いただいた市の交通指導隊の皆さん、八幡平幹部交番の皆さん、市役所防災安全課の高橋さん、ありがとうございました。

～自転車の実技指導を受ける～



生徒会対面式

10(月)の5・6校時、新入生を迎える生徒会対面式がありました。生徒会執行部が、スローガンや生徒会組織、各委員会の活動内容、行事などについて、詳しく説明をしました。そのあとは、各部の部活動紹介。どの部も、多くの部員を勧誘するために創意工夫を活かして、発表を行いました。また、三大文化であるボディパ、合唱、エール・応援で、西根中のスピリットを新入生に見せることができました。準備時間が少ない中、2・3年生が手本を立派に示してくれた対面式でした。

